

坂監公表 4 第 3 号

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 2 項及び第 4 項の規定に基づき令和 4 年度定期監査を実施したので，その結果に関する報告を同条第 9 項の規定により，別紙のとおり公表します。

令和 5 年 2 月 13 日

坂出市監査委員 稲 田 茂 樹

坂出市監査委員 斉 藤 義 明

令和4年度定期監査報告書

令和4年度に執行した事務について、次のとおり監査を実施した。

第1 監査の内容

主に令和4年4月1日から同年9月30日までに執行した事務及び財務に関する事務の執行並びに経営に係る事業の管理について、地方自治法第2条第14項（最少の経費で最大の効果）及び第15項（組織及び運営の合理化）の規定の趣旨に則って行われているかについて監査を実施した。

第2 監査の対象

部 局 名	課 名 等
総 務 部	・職員課・危機管理課・財務課・総務課
政 策 部	・秘書広報課・政策課・公民連携・DX推進室
市 民 生 活 部	・税務課・市民課・人権課・生活環境課
健 康 福 祉 部 (福祉事務所)	・けんこう課・ふくし課・こども課・かいご課
建 設 経 済 部	・産業観光課・農林水産課・建設課・港湾課・都市整備課
教 育 委 員 会	・教育総務課・学校教育課・生涯学習課（公民館等） ・文化振興課（美術館・図書館等）
消 防 本 部	・庶務課・予防課・情報指令課・消防署
農 業 委 員 会	事務局
選挙管理委員会	事務局
議 会 事 務 局	事務局
市 立 病 院	・庶務課・医事課

第3 監査の期間

令和4年10月7日から同年11月14日まで

第4 監査の方法

今回の監査は、執行した事務及び財務に関する事務の執行並びに経営に係る事業の管理についての合法性、正確性、効率性等を主眼におき、監査の過程で必要に応じて適正及び効率性、能率性の確保に留意して行政的監査を行った。

監査対象部課からは、職員の事務分担表、主要な年間事務事業の計画及び実績、懸案事項及び業務に関する問題点、委託料調書、負担金補助及び交付金調書、工事請負費調書、備品購入費調書、各施設状況調書、管理運営に当たっての問題点及び今後の課題、使用料及び手数料調書、歳入整理簿、扶助費調書、貸付金調書、特別会計調書、基金調書、各種団体・協議会等の会計調書等の監査資料の提出を求め、通査する

とともに事業の執行について関係職員より説明を聴取し、必要に応じて出先機関に向いて監査を実施した。

第5 監査委員の除斥

議会事務局の監査において、斉藤義明監査委員は地方自治法第199条の2の規定により除斥した。

第6 監査の結果

監査の結果、事務の執行については概ね適正に処理されていると認められた。

また、監査執行過程において比較的軽微な事項については、その都度関係各課に注意を行い、あるいは口頭により善処するよう指導し、記載を省略しているが、善処を要する事項については監査委員の意見を下記のとおり付するものである。

今後、事務の執行に当たっては、善処を要する事項に十分留意願いたい。

今回の監査で指摘及び善処を要する事項

(1) 各課共通事項

行政の最大の目的は市民の安心安全な暮らしの実現であることは言うまでもない。

しかしながら、人口減少、高齢化による生産年齢人口の減少に伴い、今後も財源の確保が厳しさを増す一方で、市民ニーズの多様化も進んでいる。

また、限られた財源の中でその目的を効果的に最大化していくには、市役所全体の組織を如何に活性化していくかに掛かっている。

その組織を動かしているのは職員一人ひとりであり、一日の大半を過ごす職場での人間関係や、所属先の職場環境の雰囲気によって、職員のモチベーションや仕事の成果等が異なってくる。

複業、テレワーク、ワークライフバランス等、公務員の働き方の形態も変化している中で、職場の現状や抱える課題等を把握するため、仲間を大切にできているか、ワンチームとして力が十分発揮できているか等の観点から全ての部署に対し監査を行った。

各部署へのヒアリングを通じて課題として感じたことは次のとおりである。

4月の機構改革で業務と人員の配置にミスマッチが生じたことにより一人当たりの業務量が増加しマネジメントが上手く機能していない部署が見受けられたこと、また、人事異動により新人職員が大半を占めている部署では業務内容を熟知するまでに時間を要していること等、部署によっては課としての運営や人心掌握に腐心している状況となっていた。

特に建設経済部においては、以前からの慢性的な技師不足により、将来的には技術面での知識やノウハウの習得、継承が困難となることも想定される等、技師の確保が喫緊の課題であると感じた。

このように、業務量に対する職員不足や専門的知識を必要とする職員が不足し、一人ひとりの職員が抱える業務量が増大している中では、どうしても職員のモチベーションや仕事の効率が下がり職場内での孤立にも陥りかねない。

それを防ぐには、監査の中で繰り返し提言した仕事以外での何気ない雑談、レクリエーション、アクティブラーニングの導入等、コミュニケーションの効用や相手を理解するための傾聴の姿勢が何より重要である。

特に、傾聴は相手に波長を合わせながら聴く姿勢や、相手の考えを深めたり意図を明確にすることであり、それを実践することで職員相互の信頼関係や安心感が醸成されることになる。

また、職員が課として掲げた目標に向かってベクトルを合わせながら、様々な情報を共有し、周りの職員にも業務の見える化を図ることにより、問題が発生した場合のリスク低減にも繋がる。

一方では、管理職にある立場の職員が積極的に課員に対し声掛けを行う等、職場内の関係構築に取り組むことも人間関係が良好になるポイントであり、実践を通じて職員同士の関係性の質が高まり気付きやアイデアが生まれ、さらには主体的にチャレンジする職場へと変化する。

さらに、チャレンジして成果を挙げた職員に対してはその功績を積極的に評価し、職員が働きやすいと実感できる職場環境をつくることにより、そこで働くことを希望したり憧れと感じる職員が増えるような組織風土を目指していただきたい。

今後は、全ての職場において「心理的安全性」「相互信頼」「仕事の意味付け」「チャレンジ精神と褒める文化」を創り出しながら、チーム力をより一層高めていくことを要望とし総括といたしたい。

（２）各課個別事項

【総務部】

- 職 員 課：① 職場によっては、男性職員の育児休暇取得状況に温度差があることから、法改正も見据えつつ、男性職員が育児休暇を取得しやすい職場環境づくりへ積極的に取り組んでいただきたい。
- ② 仕事に前向きで意欲のある職員が様々なハラスメントに悩まずに気持ちよく働くことができる職場となるよう職員課としてサポートしていただきたい。
- ③ 仕事量と担当する職員数とのアンバランス等、職員体制に関する悩みを聞く中で、担当課として組織の活性化が図れるよう適材適所による人員配置に十分配慮していただきたい。
- ④ 所属長へのメンタルヘルスに関する研修を実施し、ハラスメント予防に繋がるよう努力していただきたい。
- ⑤ 知識や経験豊富で業務内容を把握している職員はその部署にとってはなくてはならない存在であるが、一方では人事の固定化にも繋がることから、柔軟且つ適正な人事異動をお願いしたい。
- ⑥ 地域のために働きたいと思っている優秀な人材が本市を選んでもらうためにも、大学等へ積極的に広報活動を行うとともに本市の魅力発信にも取り組み、少しでも本市に興味関心を持つ機会を作っていただきたい。
- ⑦ 安全衛生委員会については定期的な開催とし、ヒヤリハットの防止等、事故

を未然に防ぐ対策をアドバイスしながら、リスクの無い安全な職場環境へと改善に繋げていただきたい。

- ⑧ 公務私用を問わず、職員の自動車絡みの事故が多く感じる中で、職員への再発防止への心構えを強く持たせるよう常日頃から周知啓蒙に努めていただきたい。

危機管理課： 市内各地区で実施している防災訓練については積極的に関与して効果を上げている。引き続き継続して実施願いたい。

財 務 課： 国債等、債権を購入する際には、その時々の方財政状況を勘案した上で、長期保有の債権ではなく、低金利でも自由に運用できる金融商品の検討、各種基金の活用等、公金管理の見直しを行うことにより、市民生活に直結する安全安心に関わる事業等への予算に充てるよう要望する。

総 務 課： 自治会加入者減少問題については、以前より抜本的な解決策が見い出せないまま現在に至っている。自主防災や災害への対策等、今まで以上に様々な地域活動のネットワークにも影響を与えるので、これからも粘り強く自治会加入促進に向けて努力していただきたい。

【政策部】

秘書広報課：① コロナ感染対策のため市政モニターを暫く開催できていない状況となっているが、広く市民の声を拾うためにも広聴活動に力を注いでほしい。
② 市の若手職員の意見等を集約して、広報誌に反映できるようなアイデアを考えていただきたい。

政 策 課：① 未納となっている島民カード利用による瀬戸大橋通行料金については、先ずは現年度未納分から解消に向けて全力を挙げていただきたい。
② 現在、職員1名で対応しているカーボンニュートラル事業は、今後、事業計画の策定等、業務量や業務内容を考えた場合、1名のみで業務を担うには非常に困難な状況になることが予想されるため、政策立案等を担当する専門の部署を設置し、ゼロカーボンシティに向けた体制づくりを強化することを要望する。
③ 本市のふるさと納税の納税額を増やすためにも、宣伝に対する予算を手厚くし、広く周知活動を積極的に行っていただきたい。
④ 公民連携による五色台や島しょ部等へ関心を持つ企業の進出や人材誘致による地域活性化、ワーケーションへの環境整備に大いに知恵を出してもらいたい。

公民連携・DX推進室：① 「さかいで未来会議」では、市内4校の高校生が香川大学生と

ともに将来の坂出のまちづくりのヒントを得る目的で近隣のまちづくり先進地を視察し、公民連携によるまちづくりを貪欲に学んでいる姿は頼もしくもあり、高校生が若い感性でアイデアを持ち寄り、街の将来について語り合う場は非常に有益である。出てきたアイデアを具現化していく等、これからもスピーディーに取り組んでいただきたい。

② 坂出駅前再整備において、関連施設が完成した暁には、にぎわいが創出できる場づくりにも鋭意取り組んでいただきたい。

③ 当課が担当する業務が本格化した場合、業務量の増加により人材不足に陥る可能性があることから、兼務職員の具体的な業務内容や所属部署との関係性等、現在曖昧になっている課題を早急に整理し、兼務職員が働きやすい環境整備を行っていただきたい。

【市民生活部】

税 務 課：① 本市の市税収納率が高い水準を保っていることを評価したい。今後は、県税事務所が取り組んでいる徴収のノウハウ等も参考にしながら、高い収納率の維持や更なる向上を目指していただきたい。

② 現状と乖離しない精度の高い固定資産税の歳入見込み額を算出するには、現場の状況把握や情報収集が何よりも重要であり、そのような姿勢で取り組んでいただくことを要望する。

③ 職員は市の財政の屋台骨を担っている重要な部署であるということに誇りを持って、業務に当たっていただきたい。

市 民 課：① マイナンバーカード交付担当課として、市民の取得率向上に向けて日々奮闘されていることに敬意と感謝を申し上げるとともに、市民からマイナンバーカード交付時での職員の対応が良かったとの声を聞いており大いに評価したい。当課は市民との接点となる最前線の部署の一つでもあり、今後とも市民サービスの向上に努めていただきたい。

② マイナンバーカードを取得していない市職員が一定数いるようなので、取得率 100%を目指して啓蒙していただきたい。

人 権 課：① 貸付金については、多額の未償還金が残っている中で、今後も償還への理解と協力を粘り強く求めながら、少しでも多く未償還残高を減らせるよう努力願いたい。

② LGBTQ 等、性的マイノリティーに対する差別意識の解消や生活支援の取組みとして、本市が制度化したパートナーシップ宣言に対し、市民の理解と協力を求める機会となるような企画を引き続き考えていただきたい。

③ 差別に関する市民アンケート調査結果では、以前と比べてあまり差別解消に向けた理解が深まっている状況ではないように感じている。多様化する差別問

題の解消に向けて、引き続き、小中学校での教育の中でしっかり取り組んでいただきたい。

- 生活環境課：① 宅配ボックスの購入費補助申請件数が思ったより伸び悩んでいることから、もう少し周知方法を工夫して、宅配ボックスの利用者を増やす努力をしていただきたい。
- ② 令和３年度に作成した火葬場建設基本構想を踏まえ、計画策定から建設に至るまでの期間を可能な限り短くし、大きなネックとなる建設場所の決定についても、市有地と民有地の交換等、大胆な発想力と交渉力で乗り越えていただきたい。
- ③ 当課は現場が中心であり、現場がうまく機能しなければならない部署であるが、それ故に車両を運転する際には自覚を持って注意するとともに、職員に対する交通安全教室の実施等、組織内でも交通事故を予防できる体制づくりを要望する。

【健康福祉部】

- けんこう課：① 地区ごとに健康づくりに繋がる体力測定事業を展開していただきたい。
- ② 高齢とともに健康な状態から心や体の動きが徐々に弱くなる要介護へと移行するフレイル状態とならないよう高齢者の生活機能の維持や向上を促し健康寿命の延伸に繋がる施策を検討していただきたい。
- ふくし課：① 生活保護担当職員による社会的弱者に対する様々な支援に日々尽力されていることに敬意と感謝を申し上げる。一方で、生活保護受給に至った経緯や理由等、受給者の状況は様々であり、生活支援や就労支援等処遇の検討やそれに伴う関連事務等、担当職員の業務は多岐に渡り且つ業務量も多く、重い責任を伴う業務内容でもあることから、担当職員の精神的重圧は測りしえない。これからも、担当職員のメンタル面にも十分配慮し、働きやすい職場環境に努めていただくとともに、社会福祉主事等の有資格者以外の職員も配属されている中で、職場内で実施されている事例検討会等を通じて、知見や経験を深めながら、社会的弱者が抱える悩みや不安に寄り添う支援をお願いしたい。
- ② 社会的に困難な課題を抱える市民に対する相談窓口や解決に向けた支援体制を整える重層的支援体制整備事業については、今後も、関係各課や医療機関、ケアマネージャー等、エッセンシャルワーカーによる対象者への的確な支援を継続していただきたい。

- こども課：① 保育士不足という課題もある中で、保育士一人当たりの業務量が増加することで過労とならないよう現業部門との意思疎通を図りつつ、一方では保育園入所を希望する声にも応えるよう財務課等とも協議し安心して子育てできる環境整備に努めていただきたい。

- ② 県内出張における効率的且つ適正な交通手段については、その時々状況によって望ましい交通手段を原課で判断していただきたい。
- ③ 保育所、幼稚園施設で老朽化が著しい箇所を点検把握し、財務課と相談しながら改修に向けて早急に対応していただきたい。
- ④ 小中学校の再編以外に、今後、保育所、幼稚園の再編についても話に挙がってくると思うので、担当課として今後の検討課題としていただきたい。
- ⑤ 全国的に見て出生率が上がっている地域では、教育や保育の無償化や移住者への手厚い支援策が講じられている。人口減少が続く中、出生率上昇に繋がる思い切った施策を検討し実現に向けて努力していただきたい。

【建設経済部】

産業観光課：一般社団法人坂出市観光協会の JR 坂出駅内への移転に伴い、これまで当協会が担っていた坂出市の特産物販売業務を他の事業者が代行することになったのは残念である。今後は当協会でも以前のような物販機能を維持強化していただきたい。

農林水産課：① 市民から好評を得ている市民農園については、市内の休耕田等の未利用地の有効活用を図るべく、所有者や近隣住民の理解を得ながら、積極的に対象地区を広げていただきたい。

- ② 当課は、技術的知識や現場での的確な対応が求められる部署であるにも関わらず、技師が少ない上に、経験年数が短い職員も多い。また、技師は本来の業務以外に他の係の業務支援にも関わっており、恒常的な人員不足に見舞われていると言わざるを得ず、職員の健康面を危惧するところであり、課員の健康管理については十分に配慮願いたい。

建設課：市営住宅については、老朽化している住宅の除却や建替え等を進めて再配置を行うことにより、業務の合理化や効率化を図られて、担当職員の負担軽減にも繋がると考えている。それを実行するために、様々な理由により住み替えに消極的な入居者に対し、住み替えを促す特例等、優遇策を検討していただきたい。

港湾課：病欠による欠員等により課員が日常業務をこなしながら、新しい業務に取り組むには、相当のストレスが掛かっていると思われるが、その中においても今後とも業務に支障を及ぼさないよう、課全体のマネジメントの向上に努めていただきたい。

都市整備課：① 香風園は駅に近く市街地の中にある貴重な公園であり、坂出で一番良いエリアにもなっている。お茶会、結婚式の前撮り等、市民の利用促進に向けて積極的な取り組みをお願いするとともに、利用料の低減化を検討していただきたい。

- ② 特にオーバーワークになって適切な健康管理が疎かになっている職員に対

しては、定時で自宅に帰る日にちを予め設定しておく等、健康面での配慮をお願いしたい。

【教育委員会】

教育総務課：① 老朽化している学校施設の中で、早急に対応が必要な施設がある一方で、現在、議論を行っている学校再編整備計画との兼ね合いもあり、現場を抱える当課が修繕の検討に苦慮していることは理解できるが、児童生徒の安全面の確保を第一に考えた上で、柔軟に対応していただきたい。

② 学校再編整備により空き地となった学校跡地の利活用については、市にとって重要な問題であることから、庁内に部署間の垣根を超えた検討会議を設置する等、全体を見ながら協議を進めていただきたい。

学校教育課：① 不登校の小中学生に対する教育支援の一環として設置されている教育支援センターでは、生徒の悩みのみならず先生方の心身面のケアに対しても寄り添ってほしい。また、不登校に陥る要因は様々であることから、不登校の生徒に対する接し方や支援方法等についても教育委員会と現場の先生が互いに連絡を密にして、適切な対応に努めていただきたい。

② コロナ対策については、引き続き、学校医と医師会の協力のもと、感染防止対策等に鋭意尽力願いたい。

③ 教職員の過重労働が問題視される中で、教職員の志望者が減少している。教職員のモチベーションが生徒のモチベーションにも大きく影響することから、教職員の働き方改革を進めながら、生徒にとっても教職員にとっても居心地が良いとすることができる学校環境づくりに意を注いでいただきたい。

④ 部活動については年々生徒数が減少し、競技種目によっては試合が成り立たなくなっているケースが出てきており、技能の向上が図れない状況で活動に支障を来している。その中で、コーディネーターや指導員等、外部の力を借りることにより、部活動の充実強化を図るとともに、教職員の負担軽減にも繋がることから、人材バンクの登録制度等、存続できる部活動の在り方について検討するよう要望する。

⑤ 外国語教育の委託事業については単なる学習カリキュラムを実施するだけでなく、児童生徒の語学力アップに繋がるよう考えていただきたい。

⑥ コロナ感染状況についてはまだ終息が見えない状況ではあるが、ウィズコロナ時代を見据えて児童生徒にとって居場所となるストレスの無い学校運営を行っていただきたい。

生涯学習課：① 体育館や武道場等、体育施設の老朽化問題や中央公民館・勤労福祉センターの今後の在り方等、市としても大きな課題となっており、坂出駅前再整備に関する別の議論もある中で、公共施設の整備方針や計画案等、担当課としての

意見を整理し、様々な機会を捉えて発言していくよう努めていただきたい。

- ② 本課は土日祝日でのイベント開催に従事することが多いため、他課と比べて休日出勤が多くなっているが、職員間の協力体制の構築、仕事の配分や仕方も工夫しながら、時間外勤務の削減や振替休日の積極的な取得に努めていただきたい。
- ③ 本市には、将来、オリンピック強化指定選手の予備軍に選ばれている有望な選手もいて、市としても、強化指定選手に繋がる支援策を講じるための予算措置等を講じていただき、何本でも懸垂幕を掲げられ、街の賑わいに繋がるような街になることを切望する。

- 文化振興課：① 美術館で毎年開催しているフォトコンテスト事業については、今年度で終了すると伺ったが、出品した写真の数々は、これまでの市の歩みを記録する貴重な財産でもあることから、市制100周年に向けて適切なデータ管理等、保管方法を検討していただきたい。
- ② 市民にとって大切な文化拠点である図書館・美術館・郷土資料館は、老朽化が進み、雨漏り等、修繕が必要な箇所も増加している中で、今後、予定されている坂出駅前の再整備との兼ね合いも注視しながら、利用者に不便を掛けないよう適切な管理に努めていただきたい。

【農業委員会】

特になし

【議会事務局】

AI を活用した音声録音機の性能が上がれば、委員会議事録の作成に要する時間の短縮化や精度の高い議事録が容易となる時代が訪れると予想される。今後は、そのような時代を見据えつつ、市民に対し委員会議事録を公開できるよう具体的な方策を検討していただきたい。

【選挙管理委員会】

最近における選挙での投票率は全体的に伸び悩んでいる。中でも、特に選挙権が最初に付与される18歳から20歳までの若年層の投票率が低いため、重点的に投票率アップに向けた啓蒙活動を行っていただきたい。

【消防本部】

- ① 毎年、市内各地区で実施している防災訓練は、講習を通じて市民と消防職員が触れ合う貴重な機会であると言える。今後も、市民の生命、財産を守るべく、市民との関わりを大切にしていきたい。
- ② ヒアリングを通じて、消防部局では、業務量に対する人員不足による緊急出動時での人員のやり繰りや現場経験不足による署員の実技等のレベルアップ

ブが大きな課題となっていると感じた。人員の適正な再配置や管理職による署員との個人面談を通じたコミュニケーションの活性化、署員には自ら掲げた目標に向かって業務に邁進できる風通しの良い職場環境づくりに努力することが課題解決への近道となる。当局におかれては、そういう意識を持って業務に精励願いたい。

【市立病院】

- ① コロナウイルス感染による被害がさらに拡大継続している状況を見れば、もはやコロナウイルスが単なる災害であるという表現は適切ではないと考えており、ウィズコロナの中での対応が十分確保できる体制づくりをお願いしたい。
- ② 当院の看護師の待遇面は他の医療機関と比べて遜色はないにも関わらず、離職率が高い状況となっている。個々人の家庭事情も配慮しながら、看護師が長期間働き続けることができるよう働きやすい職場環境に取り組んでいただきたい。
- ③ ヒヤリハットの分析を踏まえての改善を行う中で、患者や病院関係者への安全対策がマンネリ化しないよう、常に部署別に安全に関する目標を立てて、評価と改善を繰り返し行っていただきたい。